

熱田高同窓会報

発行
愛知県立熱田高等学校
同窓会事務局
TEL(052)-652-5858

同窓会ホームページ
URL:<http://www.atsuta.gr.jp/>

熱田高校ホームページ
URL:<http://www.atsuta-h.aichi-c.ed.jp/>



平成30年度 第64回生 同窓会入会式

第64回卒業生を迎えて

副会長 木村隆秀(19回生)



街路樹の緑が色鮮やかな中、紫陽花が美しく咲く時季を迎えました。会員の皆様には、

益々ご健勝でご活躍のことと存じます。

既に新年度が始まり、はや3カ月目を迎えました。去る2月28日に、第64回卒業生を当同窓会に迎える入会式に、会長の代理として参加させて頂きました。グローバル化が進展する現在、語学力を磨き上げて欲しい等、先輩から後輩へ送る激励を込めた祝辞を代読後、簡単に同窓会の活動についても説明させて頂きました。新入会の皆さんには、卒業後も同期会を重ねて頂きながら、同窓会に若い息吹を吹き込んで欲しいと願っております。

また翌3月1日の卒業証書授与式にも臨ませて頂きました。316名が熱田高等学校から単立ちました。式典は厳粛に進み、卒業証書授与の後、25名の3年間皆勤者の表彰がありました。同窓生でもある三好博輝校長の式辞、ホームカミングデーで司会を務めて頂いた生徒会長の一ノ瀬真菜さんの送辞と続き、卒業生代

表福安舞さんの答辞では、会場におられるお母様への想いに触れられ、目頭が熱くなりました。また、男女の区別無く入場する光景に時代の変化を感じました。生徒の皆さんは伝統ある熱高生らしく穏やかで真面目な印象を受け安堵しました。ここに改めて、第64回卒業生の皆様のご卒業をお祝い申し上げ、今後のご活躍をお祈り致します。

さて、母校へ足を運ぶ度に感じますのは、老朽化した学校設備です。かつては「教育愛知」を誇り、教育への投資を惜しまなかった愛知が、すでに過去のものになっていることを痛感します。

同窓会では、グラウンドの人工芝化を目指しておりますが、使用されていないプールの解体問題をはじめ、学校設備の課題は山積しています。行政のみに頼ることなく、同窓会も一緒に考えていくことが大切であると存じております。

会員の皆様には、ホームカミングデー等の機会に、母校に足をお運び頂き、現況をご覧頂いて、熱田高校の発展のために更なるお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

結びに、母校熱田高等学校と会員皆様の弥栄をご祈念申し上げます。

令和元年 6 月吉日

令和に羽ばたく

校長 三好 博輝



同窓会の皆様方には日頃からのご支援に心から感謝申し上げます。

4月8日、正門の桜が咲き誇る中、全日制新入生320名、定時制新入生32名を新たに迎え、新年度が始まりました。始業式には、生徒に対して、何事にも常に目的意識を持ち、自ら主体的に取り組む姿勢を求めました。無目的で授業を受けてきた生徒、惰性で練習をしてきた生徒にとっては、年度が変わり、学年が変わるこの春という季節は、自分が生まれ変わる絶好の時期です。また春というのは、その陽気のせい、新しいことにいろいろチャレンジしたくなる人の背中を押してくれる季節でもあります。生徒の皆さんには自身の成長のためにも、しっかりと目を掲げ、勇気を持って新しい取組みへの一歩を踏み出してもらいたいものです。

とけわけ、今年も、5月1日より令和の時代が始まりました。「春の訪れを告げ、見事に咲き誇る梅の花のように一人ひとりが明日への希望とともにそれぞれの花を大きく咲か

せることができる、そうした日本でありたいとの願いがこめられている」とのことです。

創立67年目を迎える熱田高校におきましても、生徒それぞれが、自分の将来に向かって希望の花を大きく咲かせ、令和の時代を羽ばたき、歴代同窓生の方々が成し得てきたように、社会に大きく貢献することを願います。そのために、我々教職員は一丸となって、これまでの良き伝統を引き継ぎながらも、新しい時代にふさわしい熱田高校を築き上げるべく努力する所存であります。

最後になりましたが、同窓会長佐々木元彦様。同窓会事務局長方前秀男様をはじめ同窓会の皆様方には、これまでと同様、本校の教育活動への御支援を賜りますよう心からお願い申し上げます。また、グラウンドの人工芝化に向けて再度本格的にご尽力いただけるということをお伺いしました。熱田高校が令和の時代に羽ばたけるよう、学校活性化並びに地域の活性化、さらには公立高校の活性化のためにも、何卒よろしくお取り計らいお願いいたします。

令和元年6月吉日



定時制課程の今

教頭 渡辺 喜長



平成最後となったこの春の人事異動で熱田高定時制の新しい教頭に着任した渡辺喜長です。三好校長を中心前任者の佐野和宏教頭(現・中村高教頭)が築いてきたこの熱田高定時制の伝統をしっかり引き継いでいきたいと思っています。まだ一カ月しか見ていないので語るにはまだまだですが、この一カ月の印象は、先生方はもちろん、生徒たちもしっかりしているなどという印象です。私服・茶髪・赤髪など見たことのないレベルの様々な格好の生徒たちがいる中で離任式が始まり、ざわざわすることなく、離任される先生方の話を聞く姿は、見た目とは違って、とても好感が持てました。スマホをいじったりする生徒もいるのですが、すぐに先生方が注意をします。学校が好きではないだろうと思わせるやんちゃな雰囲気の子供たちと笑ったり叱ったりする先生方と生徒たちのやり取りを見て、生きた教育の現場が、ここにはあると実感しました。

私も頑張ろうと思つて、次の日から勇気をもって大きな声で「おはよう！」「つて言うよ、ほとんどの生徒が、にこやかに「おはようございます！」と言ってくれます。「おはよう」と友達感覚で返事をする生徒もいますが、それはそれでうれしいです。給食の時に、「一緒に食べてもいい？」と話しかけても嫌がらずに話をしながら食べてくれます。「ひだまりファーム」という給食棟隣の小さな畑にいと「先生、何してるの？」と向こうから話かけてくれます。中学校時代に不登校傾向にあった生徒や、他の高校を中退して入学してきた生徒が多い中、この人懐っこさは不思議です。現在、名古屋市内の県立夜間定時制普通科の中では最も生徒数が多いようです。また昨年度、実施したアンケートでも、「熱田高校定時に入学して良かったと思う」という質問に対して、9割近くの生徒が「そう思う」「ややそう思う」と答えているようです。

平成から令和に元号が変わつても、熱田高定時制の良さは変わらないうように今後も取り組んで行きたいと思つています。

これからも温かい目で応援方よろしくお願いたします。

がんばれ熱高生

今回は、1人の恩師と3人の卒業生にご多用中でしたが、原稿を依頼できませんでした。八木敬彦先生は、長年本校に勤務され、瀬戸高校の校長を最後に、本年退職されました。10回生の古田憲彦氏は、小学校校長・教育委員会勤務後、現在大学で教職サポートをしています。20回生の野々部孝司氏は、東急ホテルチェーンの総支配人を歴任し、ホテル業界では著名な方です。21回生藤原高子氏は、生命保険のMDRT資格者として現役で幅広く日々活躍中です。

自ら学び、未来を切り開け

元 瀬戸高校長 八木 敬彦



私が保健体育の教諭として、赴任した2校目の高校が熱田高校です。平成元年4月から平成

20年3月までの19年間お世話になりました。赴任当時熱田の地を訪れた時の感想は、七里の渡し付近から漂う工場の排煙、かぐわしいかつおぶしの匂いが鼻を突き、言葉に言い表せない気分になったことを思い出します。校舎は歴史を感じさせる趣でした。先生方は、個性に満ち溢れ、経験豊かで優秀な方が多くお見えに

なっており、私が初任校では味わったことのない教員集団でした。行事や部活動が盛んで何事も生徒の主体性を尊重しつつ、教育の目標に向かって教師と生徒が信頼しあい、大変温かい関係を築かれていたと思えました。在職中は、担任としては5年間の経験にすぎませんでした。担任後は、主に生徒指導部に属し、12年間生徒指導主事として学校運営に携わりました。正直楽しいことより、つらい、苦しいことのほうが多かった気がします。しかし、日々充実した生活を送ることができましたのも、私を温かく見守り、ご指導いただいた管理職の先生方、見かねて助けてくれた同僚の先生方のお陰です。今思えば、未熟なゆえに先生方に大変ご迷惑を

おかけしたと反省の念に堪えません。部活動の指導は、赴任以来バスケットボール部の顧問として、公立高校の頂点を目指し日々指導に明け暮れていました。そして瀬戸高校校長を最後に今年度で退職を迎えました。



長年バスケットボール顧問として指導

授業のような正答があるものばかりではありません。学校教育は、「与える教育」から「支える教育」へと変わるうとしています。つまり、自主的・能動的に、自分の意志で様々なことを学んでいく姿勢が求められているのです。

皆さんの行く道には、様々な困難が待ち受けていることでしょう。困難にぶつかっても、自分を見失わず、あきらめることなく、一步一步進んで行ってください。この熱田高校で経験したこと、培ったものを財産に、胸を張って堂々と歩いて行ってください。皆さんの健闘に心から期待しています。

最後になりますが、この度は同窓会報寄稿という機会をいただき、熱田高校時代を懐かしく思い出すことができ本当に感謝しております。

(現 京都産業大学

入学アドバイザー)



これからの教育の担い手に期待
10回生 古田 憲彦



卒業後の熱田高校との関わりは、平成19年から24年にかけて3回ほど1年生を対象とにお声を掛けていた

いたことでした。担当は『教員志望』でした。小学校勤務と教育委員会での勤務経験、退職後に椋山女学園大学で教員採用試験のための指導をしていることから、依頼をされたものと思います。講演当日は懐かしい校舎に入り、教員希望の熱高生に私の教員経験や教員になることの夢を実現していく方法を語らせていただきました。その時の熱高生の真剣な眼差しを、今でも忘れることが出来ません。

私事になりますが、昭和40年に熱高を卒業、三重大学教育学部に入學し卒業後、44年から名古屋市の教員に採用されました。無事38年間、教員生活を努め終えることが出来ました。

当時の同級生が10名程、名古屋市の教員として勤めていました。名古屋の教育を推進するような立派な方が多数、在職していました。後輩達も次々に教員になり、熱高の卒業生

が多くいたことを記憶しています。同窓生がいることは心強いことで、こうした同窓生たちと一緒に頑張ってひたすら子どもたちの教育に邁進していました。



大学での教職サポート指導風景

最近の「同窓会報」や「熱高HP」を見ますと、教育学系大学に合格した生徒が多いことを嬉しく思いました。同時に、先生方の熱心なご指導が実を結んでいることに感謝する次第です。私の「進路講演会―教員志望―を聞いた生徒も現在、教職に就いて活躍されていることと思います。

余談になりますが、現在、私が大学で担当している学生の一人に、熱高61回生がおり、名古屋市の教員を

目指して頑張っています。是非とも合格して、彼女の夢が実現されるように、サポートしていきたいと思っています。

教師という職業は、未来の日本を担う大切な仕事です。熱田高校の『教育目標』にある「人間形成」が、魅力ある素晴らしい教師を育てていくものと確信をしています。

母校熱田高校のたゆむことのない発展を願ってやみません。

(現 椋山女学園大学教育学部・教職サポートルーム指導教員)

よく遊び、よく学べ

20回生 野々部 孝司



私の鼻先をムニユッと押さえて「今日はベネーシリーズだな」。「のべえー」。

教科書は「ニュー・プリンス・リリーダーズ」。英語の授業で先生に当てられた。先回の会報誌に登場した八谷芳樹先生である。懐かしい。私の亡くなった二つ違いの兄(最後は名古屋市立高木小学校校長を務めた)も熱高卒で、八谷芳樹先生には大変お世話になった恩師である。

懐かしいと言えば、4月28日、第

20回生の同期会が開催される。皆様はこの記事を読んでいただける頃は既に開催後ということになるが、本当に久しぶりに出席する。瀬戸信用金庫・常務理事の同期の大橋良宣さんのお心遣いで、音信不通になっていた私を誘っていただいた。友達は今、何をしているのだろうか、大変楽しみである。1年・2年のクラスメイト、そして当時所属していた写真部の仲間とはよく遊んだ。授業の帰りに熱田神宮を通り抜ける時、当時たたくさんいた鶏に名前を付けて呼んでいた。例えば、よく見かける鶏には「浅野くん」「鬼頭くん」。そんな



1年8組 遠足にて(1番右端2列目 野々部氏)

なことが、楽しかった。懐かしい思い出の一つである。東京の大学へ進学した同期とも、大いなる田舎者同志で、これまたよく遊んだ。私が住んでいたアパートにはお風呂が付いていたため、早稲田に進学した須田剛君はわざわざお風呂だけ入りに来たものである。

ある時、熱高の先輩として、将来の就職のための企業説明会に講師で招かれたことがある。真面目に企業・ホテルの説明をしたが、高校生、熱高生は手ごわかったことが心に残る。聞いているのか、いないのか、反応がない。ジョークを入れても、笑ってもらえず。とにかく、汗をかいた覚えがある。遅刻常習者の少し悪だった私から見れば、高校生なら当然のことだったかも知れない。ただ、皆の前で話すことの難しさをここで学んだ。

還暦を過ぎてはまだ働き、今年は働きながら国家資格取得のための通信課程の勉強を始めた。若い頃、もっと勉強していれば良かったと思う。熱高生よ、頑張れ。よく遊び、よく学べ。

(名古屋栄東急 R E I ホテル・執行役員総支配人／元セルリアンタワー東急ホテル・執行役員総支配人／元名古屋東急ホテル・執行役員総支配人)

お客様との絆を大切に

21 回生 藤原 高子(旧・増田)



今年 4 月 18・19 日、神戸国際展示場にて「第 49 回 M D R T 日本大会」が開催され、参加して参りました。

テーマは、『心』と未来へ想いを繋ぐでした。「心」とは何かを問うさまざまなセッションが開催され、多くの会員との交流をはかり、有意義な時間を過ごしてきました。

神戸で忘れてならないのは平成 7 年 1 月に起きた阪神淡路大震災です。それ以降、東日本大震災など、たくさんの方々が被災されました。神戸は災害ボランティア等のご尽力により見事に復興されていきました。

私達 M D R T 会員の活動の根本は、「相互研鑽」と「社会奉仕」です。昨年、私は親と離れて暮らしている子供達の児童施設へボランティアとして参加しました。お餅つき・手品・サッカーなど手作りのお楽しみ会を開催し、たくさんの子供達に喜んでいただきました。このような地域に根差したボランティア活動を行っております。

私が勤務している明治安田生命・名古屋東支社の地域貢献活動として、

今年から、同期生の愛知県サッカー協会専務理事の徳田康君とのご縁で、愛知県サッカー協会エクセレントスポンサーとなりました。子供達のサッカー教室・全国フットサル大会を開催するにあたって、愛知県サッカー協会との連携で大会を盛り上げていきたいと思えます。また、Jリーグはオフィシャルスポンサーとして、名古屋グランパスエイトを応援しています。

会社では、集中観戦デーを設けてお客様と一緒にグランパスを応援しています。熱田高校はサッカーの強い高校です。インターハイに出場した花形の選手がたくさん居た事と思います。

そんな中で、今サッカーと繋がって仕事ができている事に慶びを感じ、縁を感じています。

保険営業で一番大切なものは、信頼して選んで頂いたお客様そして企業様に寄り添いアフターフォローで確かな安心をお届けする事です。

ご縁があつて繋がったお客様との絆をいつまでも大切に。

そして、これからも M D R T 会員の連続入会を目指し、Jリーグを通しての社会貢献活動と愛知県サッカー協会との地域貢献活動に力を注ぎボランティア活動も継続していきたいと思えます。

(明治安田生命相互会社 M D R T 成績会員 F・P・F インシャルプランナー代表支部マネージャー)

注：M D R T 日本会とは、「生命保険を主とする金融サービス業界の M D R T の資格を有する専門家の卓越した組織」であり「会員の資格を高め、顧客サービス及びそのクオリティ・ライフの向上を目指すことを目的とした組織」



第 49 回 M D R T 日本大会 (左から 2 番目 藤原氏)



同期会を開いて

第2回ホームカミングデーと

同期会に参加して

10回生 浅野敏子(旧・増田)



高校を卒業して54年が過ぎ、熱田高校の前を車で通ることはあっても、訪問することは、一度もありませんでした。

昨年の8月1日、第2回ホームカミングデーと10回生同期会の案内を頂き、ぜひ一度、現在の母校を訪ねてみたいと思いつい卒業後も付き合いのある友人と参加しました。

当時より広くなった体育館でスクリーンに映し出される懐かしい画面を見ながら、忘れかけていた高校時代のことを思い出しました。

その後、在校生のご案内で校長室にある北校舎から見学を始め、中校舎へと進みました。廊下は薄暗く教室の中を覗いてみると薄汚れた床に古い机と椅子が並び、正直なところ、もう少し明るく良い環境の中で学び、高校生活が送れることを願いながら



渡辺寛先生を囲んで(前列右から2番目浅野氏)

学校を後にして、同期会が予定されている賀城園会場に向かいました。同期生の出席者の多くは名古屋市内近郊からでしたが、中には遠く埼玉県からの出席者もあり、13名と渡辺寛先生を囲み10回生幹事の近藤一磨君の挨拶、渡辺寛先生のお話は「80を越えてもゴルフやテニスをしたり、趣味の写真で仲間と写真展を開いたり…」とまだまだお元気でご活躍の様子でした。また、吉良先生が本を数冊出版されたこともお聞きし、早速お手紙を出したところ、吉良先生は現在でも俳句を多く詠まれ、その中に「二万日を超えて教え子初便り」と間に、とても感激しました。また出席者の中には、「学生時代はあまり勉強をしなかったが、退職後に学ぶ楽しさを知り、



ホームカミングデー校内巡視の様子

現在も学び続けている。「高校時代に最も不得意な教科が職業の一部になつている」等の話を聞きました。

今後は、健康な生活が、少しでも長く続けられるように、日頃から体力の保持に努力し、感謝の気持ちをもちながら日々を送ってゆきたいと思いました。今回ご準備いただきましたこととお礼申し上げます。同窓会役員の皆様にお礼申し上げます。

同期会を急きよ開催して

24回生 西川 和充



「え？ ○○さん なの。卒業以来40年ぶりだよ、名札が旧姓じゃないから分からないかった」などと、会場のあちらこちらで久しぶりの再会に喜ぶ大きな話し声が聞こえ



恩師とともに同期生と語らう 24回生

る中24回生同期会は始まりました。私達24回生も、還暦まであと2年余りというタイミングの中、同期でサッカー部主将の三好博輝君が母校の第18代校長に就任されたことを兼ね、全クラスを対象とした同期会開催からは随分と時が過ぎていたことなどから急きよ開催が決まりました。

秋口の平成30年11月3日(土)に名古屋国際ホテルにての開催案内をし、急な決定に都合がつかない方も多数みえましたが、総勢62名の参加で開催できました。今回の開催では担任を受け持っていた先生に絞り込み、ご出席の依頼をしたと

ころ所用で参加できなかった館仁先生を除いて3名の先生方にご臨席賜りました。

代表幹事の中西基嘉君の開催挨拶に始まり、私達より若く見える外山幸男先生、現在は農業に勤しんでおられる深谷登志江先生、体調が悪い中無理を押ししてご出席いただきました今西英雄先生にご挨拶をいただき、学生時代を思い出すことができました。

小1時間、テーブル毎での歓談の後、校長の三好博輝君の熱田高校の校章の由来を含めた、長い挨拶も皆さんを喜ばせました。

また、冒頭で紹介した会話のように、卒業以来はじめて再会する同級生も多数いて、昔の面影を思い出すとともに、各テーブルで昔話が咲きみだれ、グループごとで記念撮影を撮るなど大変盛り上がりしました。

名司会者の加藤隆弘君の絶妙な話術のおかげで、参加者全員が学生時代に戻り大いに笑う場面もあり、3時間の催でしたが「あっ」という間に時間が過ぎていきました。

最後に今回の同期会の開催を、還暦の時に往くことを確認しました。今回参加できなかった方も含め、次回も盛大に開催されることを祈念いたします。

熱田高校の今

熱田高校進路状況の報告と今後の展望

進路指導主事 寺村祐耶

熱田高校は、サッカー部をはじめとする部活動と学校行事が活発な校風が今でも受け継がれており、嬉しい限りです。

しかし、学習・進路の面においては年々変化が続いています。まず、先輩方が在籍していた頃と比較すると、学習時間が確保できていない生徒が増加しています。これは、集中力・勝負根性などの減少による結果のように思われます。3年生の後半まで、進路決定に向けて本格的な行動に移すことができず、自身の目標実現のための学習ができていない生徒も近年増加傾向にあるように思われます。

低学年のうちから進路意識の高揚を図るために、「スタディーサポート」という基礎学力と学習習慣の定着度を診断する学習教材が導入されて3年目となりました。生徒自身が自己の学習習慣を見直す契機として活用されています。

これからさらに改善点を検討し、生徒にとってより有意義なものとなることを期待しています。

近年、大学入試制度の変化は目まぐるしく、AO入試・推薦入試の拡大や一般入試の多様化・複雑化など、我々教員でも全てを把握することは困難を極めます。大学入試の合格可能性を予測することもなかなか難しい状況にあります。そのような状況の中、来年度からはさらに大きな入試制度の変更が予定されています。

生徒の進路選択も、安定志向が高まり、とにかく早く決めてしまいたいという気持ちが強くなることでしよう。国公立大学を目指せるだけの学力を有しながらも私立大学の推薦入試に流れてしまう生徒がこれまでに増加するだろうと予想されます。低学年のうちからの学習習慣の定着、入試状況を的確に分析した可否予測により、生徒が安心して最後まで努力を続けられる体制を確立したいと考えています。

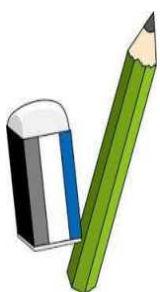
昨年度は、国公立大学合格者数40人(内現役28人)と近年では最多人数となりました。一方で、私立大学の入試では苦戦した生徒も多数存在します。生徒が少しでも高い目標に向けて力を発揮できるように今後も最大限のサポートをしていきたいと考えています。

変化の激しい社会の中で生き抜いていくためにも、目の前の問題に向き合い、一生懸命に取り組み熱高生の涵養に力を尽くしていきます。

変化の激しい社会の中で生き抜いていくためにも、目の前の問題に向き合い、一生懸命に取り組み熱高生の涵養に力を尽くしていきます。

『過去5年間の卒業生の進路別実数』

年度	4年制大学		大学校	短期大学	専門学校	就職		家事従事	その他	浪人	合計
	国公立	私立				公務員	民間				
30	23	232	0	10	19	2	0	0	3	27	316
29	28	208	0	8	25	1	1	0	4	42	317
28	19	238	1	10	44	3	1	0	0	41	357
27	28	207	1	12	37	1	2	0	3	27	317
26	15	207	0	19	50	2	3	0	1	24	317



向き合い、一生懸命に取り組み熱高生の涵養に力を尽くしていきます。

『過去3年間の国公立大学合格者数』

平成30年度		平成29年度		平成28年度	
現役生 28	過年度卒生 12	現役生 30	過年度卒生 7	現役生 19	過年度卒生 7
名古屋工業 1	名古屋工業 1	愛知教育 3	愛知教育 1	名古屋工業 1	名古屋工業 1
愛知教育 5	愛知教育 1	岐阜 3	三重 2	静岡 1	豊橋技術科学 1
愛知県立 4	三重 2	富山 2	帯広畜産 1	岐阜 1	信州 1
岐阜 1	静岡 1	福井 1	東京芸術 1	三重 2	金沢 1
信州 1	富山 1	茨城 1	愛知県立 1	富山 2	富山 1
富山 2	金沢 1	長岡技術科学 1	都留文科 1	福井 1	茨木 1
金沢 1	横浜国立 1	徳島 1		埼玉 1	鳥根 1
帯広畜産 1	大阪教育 1	高知 1		宇都宮 1	
北見工業 1	鳥取 1	香川 1		愛知県立 5	
大阪教育 2	愛知県立芸術 1	宮崎 1		愛知県立芸術 1	
琉球 1	山口東京理科 1	琉球 1		名古屋市立 1	
秋田県立 4		愛知県立 3		静岡文化芸術 1	
岩手県立 1		名古屋市立 2		福知山公立 1	
富山県立 1		富山県立 6			
静岡県立 1		教賀市立看護 1			
大阪市立 1		岡山県立 1			
		県立広島 1			



『過去5年間の地元主要大学の合格者数』

年度	大学 (%)	専門 (%)	南山	愛知	名城	中京	愛知学院	愛知工業	中部	愛知淑徳	金城学院	椋山	国公立
30	77.3	7.9	15	34	49	80	64	30	40	63	12	19	28
29	77.3	7.9	33	64	55	74	61	41	43	29	5	12	30
28	74.7	12.4	70	59	54	85	57	27	45	35	13	24	19
27	77.6	11.7	13	49	47	77	87	12	32	51	9	10	28
26	74.8	15.8	35	80	32	48	100	14	38	62	12	9	15



生徒会活動の近況
特別活動推進部主任 佐藤 高士

部活動について

現在、部活動には17の文化部(同好会含む)・10の運動部があり、放課後を中心に活動を行っています。

運動部において、昨年度の新人戦では陸上部・卓球部(団体)・女子テニス部(個人)・ハンドボール部女子・サッカー部が、県大会に出場しました。陸上部の男子円盤投げ・男子ハンマー投げは東海大会出場を果たし、卓球部も県ベスト8まで勝ち進みました。

今年度の総体では、陸上部・卓球部(団体・個人)・女子テニス部(団体・個人)・サッカー部が、県大会出場を決めました。どの部活もさらなる飛躍を目指し、日々活動に励んでいます。文化部も研究・発表と積極的に活動しています。

合唱祭について

昨年度の合唱祭は会場が体育館でしたが、近年にないハイレベルな発表がみられました。特に、2年生では理系クラスが金賞を獲得しました。女子が少ないだけでなくクラスの人数も文系クラスよりも10人ほど少ないというハンデの中、非常に完成度の高い感動的な合唱でした。1年

生の美術クラスも上位に食い込むなど、どのクラスも練習の成果を見事に発揮していました。



第66回熱高祭について

昨年度の熱高祭のスローガンは「熱高祭 千華満開」すべての想いを絆いで〜でした。生徒全員が笑顔になる様を表したものです。

文化祭では土曜日の一般公開日には前年同様に千名を越える一般客を迎えました。近年は上級生がゲートの他は教室部門を希望し、下級生が体育館ステージを占めるといった傾向になってきています。いずれにせよ、文化部ともども生徒が創意工夫を凝らし、多くの来場者を笑顔にす

ることができました。

体育祭は残念ながら天候に恵まれず順延が続いた末、最終予備日に規模を縮小して開会することとなりました。しかし、ブロックパフォーマンスや各種目への取り組みはもちろんのこと、早朝から運動部の生徒を中心に水抜き作業を行い、実施可能なグラウンドコンディションを実現するなど、熱高生の行事に対する熱意や行動力を大いに感じました。

今年度もより質の高い魅力的な熱高祭が実現できるよう、生徒会執行部を中心に準備・計画を進めていこうと思います。

ボランティア活動など

愛知県英語スピーチコンテスト

10月20日、県英語スピーチコンテストが開催され、地区大会で入賞する。左の久米さんは県大会へも出場されました。



地区大会で入賞の二人

側溝清掃と落ち葉拾いイベント

12月4日、期末考査最終日の考査終了後、各運動部・保健委員・美会員で校内の側溝送辞と落ち葉拾いを実施。生徒・教員一丸となって清掃しました。



第4回熱田高校ふれあい

サッカー教室

12月8日、地域貢献とサッカーの普及を目的として、熱田区内近隣の小学生6年生までを対象に84名の子供たちが参加。

名古屋グランパスコーチングスタッフが指導にあたり、サッカー部員も補助として指導の手伝いをした。



道徳公園「黎明池」の保全活動

12月15日、南区道徳公園内の黎明池で、生物部・科学部・天文部が参加し、池干し後の生態調査・清掃活動を行う。水の大部分が抜かれた池の中に入るといふ普段なかなかできない体験に、冬の寒さも忘れて笑顔で取り組んだ。小中学生・大学関係者・行政の皆様方も参加、地域交流や環境保全の意識を高めることができた。



第2回学校説明会

12月、約420名の中学生と保護者が参加し、学校説明会が行われた。



部活紹介

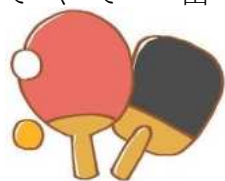
卓球部

305 高井 雅将

昨年の総体では名南支部で団体5位に入り県大会に出場することができました。しかし、これは先輩方の力が大きいものでした。先輩方が引退した後、「県大会ベスト4・東海大会出場」をチームの目標に掲げました。

平日の限られた中の練習でも、全員が目標を持ち高い意識で練習に臨んでいます。その結果、秋の新人大会では名南支部3位、県大会もベスト8まで残り、東海大会出場をかけた準々決勝でも2-3で敗れるなど、非常に惜しいところまで行くことができました。

市内県立大会ではシングルスで5年連続優勝するなど、個人でも結果を出しています。



あと一步のところまで東海大会を逃したくやしさをバルに、総体で「県大会ベスト4・東海大会出場」を実現するため、毎日自分たちを追い込んで練習に励んでいます。

女子バスケットボール部

204 山田 菜心

私たちは昨年、1年生のみで活動していました。同じ学年でいつも一緒にいるからこそ表情の変化や心の変化に気づくことができるため、チームの絆はとて強いものとなっています。また、一人一人のチームを盛り上げようとする意識が高く、チーム一丸となって練習をつくり上げています。

去年の総体では惜しくもあと一步のところまで県大会を逃してしまいました。冬、冬のオール愛知では県大会に出場することができました。

先輩方が引退をしてしまった後も、もう一度県大会に出場できるような一生懸命日々練習に励んでいます。私たちは、バスケットボールができる環境や支えてくださる家族や先生方・先輩方・友人への感謝の気持ちを忘れず、目標に向かって努力しています。



書道部

201 渡辺 美月

書道部は毎週火曜日に活動しています。普段は自由に製作し、作品は昇降口に掲示したりしています。また、普段の活動とは異なる活動があります。

1つ目は生徒会役員選挙の候補者の「めぐり」の制作です。大きな紙に書くのは大変ですが、バランス良く上手く書けたときはとても達成感を感じます。



2つ目は文化祭の書道パフォーマンスです。好きな音楽にのせて袴を着てパフォーマンスをしました。墨汁の墨だけでなく、絵の具を使ってカラフルに書きました。部員の心が一つになりとてもやりがいを感じています。

3つ目は合唱祭の「めぐり」の制作です。生徒会役員選挙より大きな紙で、英語の曲名もあるのでよりバランスをとるのが難しいです。このような大きな仕事もありますが、ほとんどの日はみんなが自由に楽しく過ごしていて習い事などで忙しい

人でも十分に楽しめます。

合唱同好会

303 伊佐 治純加

合唱同好会は、火・水・金の週3回、主に社会科室・視聴覚室で活動しています。

9月にあつた文化祭では、「空も飛べるはず」や「情熱大陸」・「残酷な天使のテーゼ」などを教室発表し、閉会式では有志のみなさんと一緒に体育館で「群青」を全体発表としてやらせていただきました。

12月に行った図書館まつりのミニコンサートでは、「シングルベル」などを発表しました。それに加えて今回は、3年生の英語総合のみなさんとESS部の皆さんと一緒に「Oh, happy day」を発表しました。ほかにも中学生に向けた学校説明会では校歌を歌わせてもらっています。





三好博輝校長挨拶

令和元年度 第1回 役員会議事録(出席者27名) 5/24
 1号議案 会計収支決算・監査(審議)
 2号議案 同窓会報19号の発刊内容に関し
 3号議案 熱田高校庭の人工芝化実現に向けて
 その他 卒業生数 26,686名



佐々木元彦会長挨拶

役員一覧

令和元年5月24日 現在

会長	佐々木元彦	1
顧問	北角尚治	21
	三好博輝	24
副会長	波田忠	1
	中野道孝	2
	岩淵正憲	3
	田中省三	4
	大村雅勇	5
	道清吉美	6
	小林勝治	7
	井上亜夫	8
	武藤史子	9
	近藤一磨	10
	中村日出夫	11
	森田文二	12
	真木伸一	13
	福島義広	14
	石田直城	15
	小倉美津夫	16
	柿崎賢一	17
	山口直彦	18
	恒川良三	19
	鬼頭美子	20
	佐々木博	21
	青木宏憲	23
	須原清成	24
	奥田隆庸	25
	近藤かをり	26
	野崎時資	29
	山田太郎	31
	樅山泰久	36
	高橋孝次	定8

事務局長	万前秀男	6
書記	谷澤伸	11
	伊藤武博	16
	吉岡寿樹	31
会計	神谷和雄	15
	阿部文雄	25
	山口実徳	定9
監査	木村隆秀	19
	水谷博	定11

学校幹事☆	水谷優	48
	川辺浩	23
	隠岐歩	45
	磯部敦至	49
	☆印=代表幹事	

平成30年度

愛知県立熱田高等学校同窓会会計収支決算報告

(平成30年3月21日から平成31年3月22日まで)

【収入の部】		円
前年度繰越金		6,027,031
入会金 全日制 64回生 316名×@6,000円		1,896,000
" 定時制 51回生 25名×@6,000円		150,000
" 定時制 51回生3卒 4名×@4,000円		16,000
名古屋銀行・ゆうちょ普通預金 利息4件		21
会員名簿販売 @5,000×1冊		5,000
合 計		8,094,052 —a
【支出の部】		
会員データ 管理費 2件		62,520
寄贈 全日制64回・定時制51回 ミニ会員名簿 370冊		108,864
" 卒業証書ファイル全日・定時 @420×350冊		147,000
" 2面式電波時計(ホームカミングデー開催記念)		600,264
助成金 定時制通信制教育振興会費 5口×@2000		10,000
" 同期会開催費(1・2・5・10・12・14・17・24回生)		253,407
" 第2回ホームカミングデー開催費として(別冊綴じ参考)		243,278
会議費1件(役員会)		142,725
会報17・18号製作費(別冊綴じ2冊参照)		375,619
慶弔費 第11代 村本邦夫校長ご逝去		19,240
通信費 8件		25,574
事務用品 11件(ラミネーター購入費用を含む)		38,555
雑費 7件(謝礼1件・図書券5件)		39,700
合 計		2,066,746 —b
次年度繰越金 a-b		6,027,306

平成31年3月22日、上記のとおり会計報告をします。 会計代表 神谷和雄

執行担当者 万前秀男 青木宏憲

平成30年度会計における証拠書類並びに会計帳簿を精査したところ、正確に処理されていることを認めます。

平成31年3月30日 監査代表 恒川良三

同期会開催に関して
 同窓会より、通信費・宛名ラベルの費用は援助しております。
 ぜひ利用して下さい。 連絡先:学校幹事または役員まで

人工芝化の実現 1

創立 70 周年記念事業に向けて

同窓会は、創立周年記念の時々学校とご相談の上うえ、寄付事業を実施してまいりました。一例を挙げますと、正門左右の前庭整備・ロータリー・緞帳・体育館の整備などなどがあります。この度創立周年 70 周年記念を令和 4 年に迎えるにあたり、校庭の「人工芝化」を実現すること役員会は決めました。その経過は、創立 60 周年記念開催日当日、本校サッカー部は、全国高校選手権大会愛知県大会決勝戦に出場しておりました。結果は惜敗でした。その折、老朽化した学校環境整備、校舎の改築やグラウンドの人工芝化」が話題にあり、グラウンド改修に向け、運動することとなりました。

多くの皆様方のご尽力によって、県知事・県教育長にお会いし要望請願してまいりましたが、残念ながら実現しませんでした。かつての『教育愛知』は影をひそめ、誇れる時代は過去となり教育予算の減少化も続き環境整備が行き届いておりません。熱田高校サッカー部はかつて、全国総体(インターハイ)、全国選手権に出場し、全国でもトップレベルの活躍をしてきたサッカー強豪校です。

しかし近年、県内においても他校の後塵を拝し、全国大会に出場することさえ、困難な状況が続いております。

県内の私立高等学校が人工芝のグラウンドで練習している中、熱田高校は、未だに土のグラウンドでの練習です。近年の県大会は芝のグラウンドで開催されております。このような状況の中で、他の強豪校との練習の質の差に圧倒的な差が出ております。

地域交流事業として始めた「ふれあいサッカー教室」(主催・熱田高等学校、同サッカー部・OB会、熱田区及び近郊の小学生を対象)も、晴天でありながらもグラウンドコンディション不良で中止した事がありました。

グラウンドが人工芝になれば、県内の公立高等学校では唯一となり、学校の特色化を一層推し進める事ができます。また、在校生にとりましても、体育の授業を始めとして、様々な学習活動を通じて、より身体活動への意欲が喚起されることは間違いありません。創立 70 周年記念の節目を迎え、地域の皆様に愛され、親しまれる高等学校としてシンボリック存在となり、熱田高校の名をさらに高めてくれることを心から願うものであります。

つきましては、これを機会に「創立 70 周年記念事業」として運動場の人工芝化に向け趣旨をご理解いただ

き、卒業生 2 万 5 千人の皆様方の各別のご支援、ご協力をお願い申し上げます。



創立 70 周年記念事業の節目に完成予定の人工芝化したグラウンド

教職員異動

平成31年度
退職者・転出者及び新転入者一覽

転出職員(敬称略・転出先)

(全日制)

山中 洋一 教諭 (名古屋南高)

中山 一洋 教諭 (昭和高校)

城所 基之 教諭 (国府高校)

伊藤 真帆 教諭 (城北つばさ高)

林 圭一 主査 (中川商業高)

鈴木 桜子 主事 (国民健康保険課)

(定時制)

佐野 和宏 教頭 (中村高)

青野 晋也 教諭 (阿久比高)

加藤 友和 教諭 (愛知商業高)

転入職員(敬称略・転入元)

(全日制)

山田美佐子 教諭 (半田東高)

磯部 敦至 教諭 (中村高)

安藤 彰浩 教諭 (岩倉総合高)

尾崎 弘明 主査 (スポーツ振興課)

河野 篤暉 主事 (住宅計画課)

(定時制)

渡辺 喜長 教頭 (瑞陵高)

内藤 弘幸 教諭 (松蔭高)

水谷 亮太 教諭 (常滑高)



事務局だより

会員名簿2017年版の申し込み

創立65周年記念版会員名簿は、平成29年12月紆余曲折はありましたが発刊。申込者へは発送を完了できました。注文後の印刷販売であり、増刷の予定は全くありません。ご購入を希望される方は、残部として、38冊事務局にあります。お申し込みをお忘れの方は、熱田高校同窓会事務局宛にハガキで送付先・連絡先をご記入の上、申し込みください。なお、ご購入をされた会員各位は「会員名簿」の管理について、個人情報が出しにくいよう十分なるご留意をいただきました。ご希望の問い合わせ(進路先・住所・電話番号)には同窓会は一切お答えしていません。

母校職員を装い、電話で進学先や住所・電話番号などを聞きだす者がいるようですが、熱田高校及び同窓会ではそのようなことは一切しておりません。

ら、(株)廣濟堂または事務局までご連絡ください。なお、名簿は同窓会員のみにしか販売はしていません。



2017 版 12 月 発 刊

会員名簿に関し

表紙裏は、校舎を囲む周辺地域の変化があつて、校舎・校地を含む風景を取り換えました。2ページ分の熱田の写真記録添付。協賛広告の目次を掲載。内容の総ページ数は633広告等の総ページ数で30で、合計663ページとなりました。

あとがき

元号が平成31年5月1日をもって、平成から令和に変わった。新たに元号と同窓生との関係を調べてみると、熱田高校は昭和28年に創立され、昭和31年(1956年)に第1回生が同窓会に入会した。

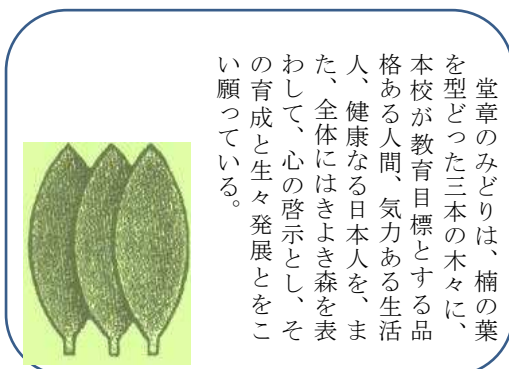
戦争・敗戦・復興・繁栄と続いた激動の昭和は終わり、1989年(平成元年)を迎えた。この年、34回生が同窓会に入会した。平成元年は東欧の変革の嵐が吹き、東西冷戦の象徴「ベルリンの壁」が崩壊し、新し

い時代が始まった。

平成時代も2001・9・11同時多発テロによって対テロ戦争の時代に入った。2019年平成は終わり、令和となった。

67回生が新1年生となったのが令和元年。そして「同窓会報19号」が発行された。18号に引き続いて「がんばれ熱高生」では、4人の筆者の方々に気持ち良く原稿をお引き受けいただきました。

最後に、「会報」を作るにあたって一番苦労する点は、どなたに原稿を依頼するのか、会員の皆様は今、何を会報に求めておられるのかということ。内容でお気づきのことやご意見のある方は会報係宛か事務局までお知らせください。



堂章のみどりは、楠の葉を型どった三本の木々に、本校が教育目標とする品格ある人間、気力ある生活人、健康なる日本人を、また、全体にはきよき森を表わして、心の啓示とし、その育成と生々発展とをこい願っている。

題字 初代書道教諭 名郷紫山